

トーキョーNOVA THE AXLERATION シナリオ『ジャスティスハンマー2500』

プレアクト

本アクトの作成目的

本アクトは、トーキョーN◎VAに全く触れたことのないプレイヤーに、プレロールドであるクイックスタートを用いてもらって、トーキョーN◎VAのプレイ体験を一通りしてもらおうということと、RL初心者が初めに手に取れるシナリオであることを目指している。

このため、熟練したPLには全く不向きなものであることを了承頂きたい。一方、熟練したRLであれば、本アクトの構成・進行を下書きにして、トーキョーN◎VAの世界をより緻密に描き出すことができると思うので、初心者の勧誘に使っていただきたい。

■ シナリオデータ

▼ プレイヤー人数
2人

▼ 想定プレイ時間

1. 5時間～2時間

▼ シナリオタグ

基本ルールブックのみでOK

● シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。

ただし、使用するデータの変更やRLが調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

▼ 使用経験点

0点

▼ 達成値制限

なし

▼ スタイル制限

このアクトはサンプルキャラクターの使用を念頭に置いている。指定されてないサンプルキャラクターや、キャストの持ち込みをする場合はそのことを考慮すること。

■ アクトトレーラー

たとえ「正義」であろうとも
画面に切り取って値札をつければ
飛ぶように売れて金が手に入る
トーキーはそうやって金を得ている
カタナもそうやって金を得ている

放送は深夜 2500

今宵も正義が金になる

トーキョーN◎VA THE AXLERATION

『ジャスティスハンマー2500』

かくて運命の扉は開かれた…

■ キャスト作成

本アクトは、事前作成したキャストでの運用を考慮していない。クイックスタートのキャストの使用を強く推奨する。

PLが強く希望して、RLが許可するのならば問題はないが、本アクトの趣旨（初心者へのチュートリアル）を踏まえて行動するとよいだろう（後述の「● 特記事項」を参考すること）。

● クイックスタート

本シナリオでは、以下のクイックスタートキャストを使用することを想定している。

また、基本ルールブックの範疇でルールを取めるため、『HDB』でアップデートされたデータを使うことも推奨しない。

『① トーキー』：遊撃記者

（『TNX』p88）

『② カタナ』：現代の騎士

（『TNX』p90）

● 特記事項

本アクトでは、トーキョーN◎VAをまだプレイしたことがないプレイヤー、ないしはプレイ回数が少ない、ルールブックをまだ所持していないプレイヤーを想定し、数回N◎VAをプレイして、判定等のルールにある程度の理解がある、基本ルールブックを所持したRLによりプレイされることを想定している。

また、本アクトの導入はそれぞれ基本ルール付属のアクト2本に対応した導入になっている。本アクトを前日談的に活用することで、よりN◎VAに慣れた状態で、より本格的なN◎VAのアクトをプレイできるように配慮してある。

● 必要な神業

本アクトでは、『難攻不落』などで、敵ゲストの神業で即死するのを免れる神業（防御系神業）を1つ使用できれば、ゲストの神業のみでキャストが死亡することはない。

● 主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する技能は〈社会：ストリート〉である。

■ キャスト間コネクション

キャスト2人でアクトをプレイする場合、キャスト2人は相互に相手への〈コネ〉技能を取得する。ルールブックの記述（『TNX』p127）に従ってスートを決めること。

■ ストーリー

トーキョーN◎VAの名物番組『ジャスティスハンマー2500』、文字通り深夜に放映される成人向け番組で、番組が様々なりサーチによって見つけた「三流の悪」を、殺し屋を雇ってぶちのめす（成人指定されているのは、残虐部分もノーカットで放映されているため）・・・という趣旨の番組である。撮影者も荒事屋も洗練されたプロではないゆえにクオリティにはブレが大きいのが、知る人ぞ知る、という感じで専用のチャット・スレッドを通して番組を批評するユーザーも一定数おり、ちょっとした話題の番組である。

今回、この番組の撮影に『① トーキー』と『② カタナ』が挑むのが、今回のアクトだ。

■ クライマックスの条件

【ネフィーというヒルコ】の情報項目を調べ、今回の敵ゲストである“デューク・カシナート”の向かった先に移動すれば、クライマックスに移行する。

N◎VAクルードルール
基本ルールブックにルールの記述のないN◎VAクルードルールについては、本アクトで対応しない。

ストーリー

この部分はRLが概要を把握するために記述されている。間違っても読み上げないように

コネ：Mr. ジョンソン
「匿名の依頼人」という程度の意味である。世の中のサイバーバンクではMr. ジョンソンの裏切り等のテーマもあるが、本アクトではそんなことはない。もしミスリードされて、プレイヤーが彼の正体や裏を取るようであればRLはきっぱりと「今回はそういうアクトではない」と告げていい。

アクトハンドアウト

各キャストには以下のような設定がつく

『① フェイト』：フリーランスの記者

『② ニューロ』：フリーランスの荒事屋

『① トーキー』用ハンドアウト

コネ：Mr. ジョンソン 推奨スート：【ダイヤ】

キミはフリーランスの記者だ。今回、キミのコネを通して1つの番組の撮影依頼が来た。社会のクズに正義の裁きを与える番組、『ジャスティスハンマー2500』をまるまる1本分。荒事屋も先方で手配してくれたようだ。キミに任されたのは、彼を目標に誘導するための情報収集と、正義を執行するに至る全ての記録だ。

【PS：番組を成功裏に放映する】

『② カタナ』用ハンドアウト

コネ：Mr. ジョンソン 推奨スート：【ダイヤ】

キミがバー“ヤロール”に入ると、一つの依頼が来ていと告げられた。それはキミにとって極めてシンプルな殺しの依頼。社会のクズを気持ちよく斬れる、そんな依頼だ。全てを記録されるのはむしろ辛い面もあるが、逆に自分のプロモーションになるかもしれない。そんな思いからキミはこの依頼を受けた。

【PS：依頼を完遂する】

オープニングフェイズ

● オープニング①：次の番組

シーンプレイヤー：① トーキークー

他キャストは登場不可

◆ 解説

『① トーキークー』が Mr. ジョンソンと合流して『② カタナ』に番組撮影の依頼をしに行くまでのシーンである。Mr. ジョンソンはプレイヤーに「ジャスティスハンマー 2500」の概要について、番組撮影の重要人物たる『② カタナ』に『① トーキークー』を引き合わせるためにバー「ヤロール」に向かうことを説明する。

◆ 描写

『① トーキークー』は、コネの指示でN◎VAのとある喫茶店で人を待っているところだ。その人物は指定の時間ピッタリにやってきて、きっちりと整えられたスーツを着て、この上なくよく分かる営業スマイルをはりつけ、キミに声をかけた。

▼ セリフ：Mr. ジョンソン

「『① トーキークー』さんですね、はじめまして。あなたのコネの紹介で参りました。」
 「私のことは Mr. ジョンソンとお呼びいただければ結構。余計な詮索は無用でお願いします。」
 「仕事の内容ですが、『① トーキークー』さんに、ある番組の収録一切をお任せしたいのです。」
 「“ジャスティスハンマー 2500”という番組をご存知でしょうか… ええ、未登録市民を狙うがために企業警察の手が届かないクズの犯罪者を、正義の集団が断罪する… そういう仕立ての番組です。報酬については十分な額をお支払いたします。」
 「ターゲットの選定はこちらで済ませてあります。この後、“ジャスティスハンマー”役の人材と会って、詳しい打ち合わせと行きたいの

ですが、この仕事、お受けいただけるでしょうか？」

「(依頼を受けた) ありがとうございます。それで、これから“ジャスティスハンマー”に会って詳細な打ち合わせをしたいので、ご同行をお願いします。」

◆ 結末

依頼を受けた『① トーキークー』は、Mr. ジョンソンが乗ってきたセダンに乗って“ジャスティスハンマー”の待つという場所に移動した。シーンを終了すること。

● オープニング②：バー“ヤロール”

シーンプレイヤー：『② カタナ』

『① トーキークー』は自動登場

◆ 解説

『② カタナ』がバー“ヤロール”で Mr. ジョンソンに殺しの依頼を受けるシーン。ただし、『① トーキークー』が殺し屋本人に画像処理をし、声も変えた状態で一部始終を撮影・番組として放映する、という条件がある。

◆ 描写

レッドエリアのバー“ヤロール”。その地下にある“イシュタル海”と呼ばれる場所には、仕事を求めるフリーランスたちが集まっているという。一切の照明がなく、暗視装置か心眼でもない限り足元をおぼつかない場所を、『② カタナ』は慣れた足取りで歩き、カウンター席について酒を飲み、仕事が来るのを待っていた。

▼ セリフ：ドーリス

「ようこそイシュタル海へ、命の洗濯をどうぞ。お飲み物はどうしますか？」
 「今日は仕事があるようだよ。もう少し待てば、先方が隣に来ることになっている。」

◆ 描写2

Mr. ジョンソンもまた、慣れた足取りでこの場所を歩く。まっすぐに『② カタナ』の元に向かってくる。一緒にいるのはトーキークーだろうか。この場所には、少々不似合いな気がする。一見妙な取り合わせの2人が、隣に座って仕事の依頼をしてきた。Mr. ジョンソンが見せたホログラムに写っている人物は「いか

『① トーキークー』のコネ

具体的な人名は指定しない。キャストの持っているコネから適宜指定してもよい。困ったら結城あや（『TNX』p69）あたりを使えばいいだろう。

バー“ヤロール”

『TNX』p48。レッドエリアのバーで、一流のプロフェッショナルの集うバーである。

画像処理と声の処理

『② カタナ』が名前を売る目的であえてそのままでもいい、というのであれば別にそれでもかまわないだろう。ここで『② カタナ』が自分のスタンスを示すのはよいロールプレイにつながるだろう。

“デューク・カシナート”

カゲ◎●、チャクラ=チャクラ

▼ 設定

冷酷非道なストリートの荒事屋。貫手の使い手で、鋼鉄の板ですら高速で捻りながら片腕を突き出すことで穴を穿つことができる。普段はマントに身を包み、顔を覆っている(神経質に隠しているわけではない)

NO
PHOTO

にも」という風格のある凶悪さがあった。

▼セリフ：Mr. ジョンソン

「『②カタナ』さんですね。仕事の依頼をしたい…隣、よろしいでしょうか？」

「仕事そのものは単純です。(ホログラムを見せる)この男を始末していただきたい。1ゴールド出します。」

「ただし、条件があります。(『①トーキー』を紹介する)このトーキーにその一部始終を撮影させてもらいたいのです。」

「私は番組撮影の責任者…の代理人です。この手の「殺しの現場」を売りにした番組がありましてね。その撮影のための依頼、ということですよ。」

「被害者の“人選”の面は大丈夫です。彼が未登録市民であることは確認済みです。そもそも、別にあなたを畏にはめても私には何の得もない。」

「(『②トーキー』に向き直って)【ホロに写った男】の現在の動き、居場所、やり口についてはあなたの情報源を使って調べてください。その費用を含めてキミにも1ゴールドの報酬を出しましょう。」

「それでは、番組の成功を祈って、乾杯。」

◆結末

Mr. ジョンソンはキャストたちを後に先に退場する。彼の役目はここまでだ。この先の舞台はキャストたちのためにある。シーンを終了すること。

人選の面

Mr. ジョンソンは必要なプロフィール情報は渡してくれる。

この手の下準備までは終わっていて、キャストが調べて(裏を取る)必要はない。

リサーチフェイズ

● イベント：その男、殺し屋にて

条件：【ホロに写った男】のリサーチを終え、情報屋の場所に向かった

シーンプレイヤー：『②カタナ』(ただしシーン開始時はルーラーシーン)

登場：〈社会：ストリート〉8

▼解説

レッドエリアにいる情報屋に会いに行くシーン。ただし、冒頭はルーラーシーンであり、キャストは登場できない。情報屋はキャストたちの動向を掴んでおり、“デューク・カシナート”にその事を教えている。

“デューク・カシナート”はキャストたちが早晩情報屋に行き着き、情報屋は自分の情報も売ると考え、情報屋を殺して立ち去る。

彼の退場後、一步遅れてやってきたキャストたちは、虫の息の情報屋から彼の次の目標についての手がかりを得る。

▼描写1

レッドエリア。まともな市民なら近づかない隅田川の向こう。それゆえに彼らにある種の「怖いもの見たさ」を生む場所でもある。

上のフロアが崩れてるビルの中に、男が入っていく。黒いマントに全身を包んだ男——デューク・カシナートだ。ビルの一室で彼を迎えたのは、中年の情報屋だ。

▼セリフ：情報屋

「カシナートの旦那、これはこれはどうも…例のヒルコの件ですが、やっとつかめましたよ…」

「ヒルコ街のどこにいるのかと結構骨をおたんですが、まさかこんなところにいるとはねえ(地図データを渡す)。ここですよ、ここ。」

「それと旦那、こいつはサービスなんですけど、旦那のことを付け狙ってるヤツが要るようで…」

「手間賃貰えば、そいつらのことも洗いますが、どうしましょかね？」

▼セリフ：“デューク・カシナート”

「そうか、ではこれは俺からのサービスだ(情報屋に向けて手刀を突き出て、目にも止まらず速さで情報屋の腹部を貫通する)。」

「お前は生きていれば金のためにそいつらに俺の情報売る。だから死んでもらう。」

「お前が死んで、俺の後を追えなくなれば、あとはどうでもいい。」

▼描写2

数分後、キャストたちは同じビルにたどり着いた、微かに血の匂いがする

情報屋のいる部屋に入ると、果たしてそこには血まみれで倒れている男がいる。

幸いというべきか、まだ息はある。だが、長くは持たないだろう。

イベント

このイベントには条件が設定されている。リサーチフェイズの最初のシーンではないので注意すること。

アドレス

『TNX』p150。アクトの運用的には「新しく行くことの出来る場所」であり、「この場所に行けばイベントが起り、アクトが進む」というメッセージである。

そしてレッドエリアには、確実な見返りなしに彼を助けるような温情はない。

▼セリフ：情報屋

「カシナート…黒尽くめのマント野郎……【ネフィーというヒルコ】…探せ…そこにいる……」

■情報項目

キャストはリサーチフェイズ開始直後に【ホロに写った男】という項目をリサーチできる。イベント終了後に追加のリサーチ項目が調べられるようになる。

【ホロに写った男】

〈社会：ストリート〉、適切な〈コネ〉

8 “デューク・カシナート”という名前の荒事屋である。フリーランスの未登録市民。

10 レッドエリアを根城にして、貴重な

遺伝子や生物資源を持つヒルコを狩ったり、単純に自分のトロフィーとしてヒルコを狩ったりしている。

12 彼にヒルコの情報を教えている情報屋の存在が分かる。情報屋のアドレスを得る。

【ネフィーというヒルコ】

〈社会：ストリート〉、適切な〈コネ〉

10 レッドエリアのスラム、ヒルコ街のヒルコ。当然未登録市民。自己修復性のある美麗で貴重な鱗を持つ

13 ヒルコ街のマヨイガモリの隠れ家のアドレスを得る。何人かの自警団のヒルコが護衛についてるようだが、“デューク・カシナート”に狙われたらどうだかわからない

クライマックスフェイズ

敵ゲストの強さ

ゲスト1人にキャスト2人なので、神業の数で勝っているキャストたちが神業を上手く使えばカット進行に至ることなく敵ゲストを倒すことができる。それは素直に賞賛されるべきで、ロールプレイを通して盛り上げていくべきシーンだろう。もしあまりにも味気なく感じるようであれば、『TNX』p288のカタナループを1グループ、10～15人前後追加するといひ(ヒルコを運ぶ出すために、“デューク・カシナート”が雇ったのだ、とする)。

●クライマックス

▼解説

“デューク・カシナート”の後を追って、マヨイガモリに行き、彼に「正義の鉄槌」を下すためのシーンである。

彼はまず邪魔者のキャストたちを始末して、それから無力なヒルコを攫って商品として「処理」するつもりである。カット進行を開始せよ。

▼描写

トーキョーN◎VA、レッドエリアに広がる通称ヒルコ街にある、マヨイガモリの片隅が今宵のジャスティスハンマー2500の舞台だった。

ようやくと掴んだそのアドレスに近づくにつれ、血の匂いが濃くなっていく。

目的のアドレスは、マヨイガモリ自警団の歩哨小屋のような場所にある、雑とも丁寧ともとれないような隠し通路の先にあった。

もっとも歩哨のヒルコは無残に殺されている。この手口は“デューク・カシナート”のものに違いない。

通路の奥に行くと、はたして護衛のヒルコが今まさに倒され、その奥で震えている美しいヒルコ——彼女がネフィーだろう——を連れ出そうとしているところだった。

▼セリフ：“デューク・カシナート”

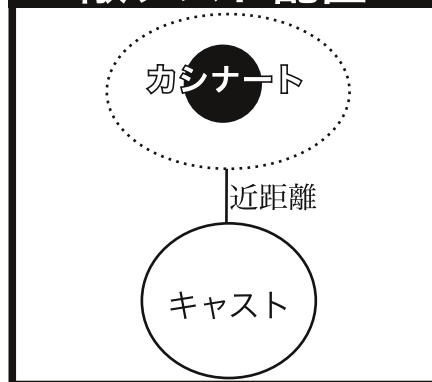
「追いつかれたか、なるほど、雑魚ほど素早いというわけか。」

「悪いが俺の仕事邪魔するからには、死んでもらう。仕事を余計なヤツに見せるのは嫌いな性分だな。」

▼カット進行

ゲストとの位置関係キャストが全員で1エンゲージ、そこから「近距離」に“デューク・カシナート”がいる。ネフィーは戦闘から除外して考えてよい。

敵ゲスト配置



エンディングフェイズ

▼ 指針

以下に指針を記載する。プレイヤーの希望に合わせて好みにシーンを作成、演出すること。

『① トーキョー』は Mr. ジョンソンに映像を渡すことになるだろう。《暴露》はこのタイミングで使うことを想定している。

番組の放映で視聴者がショッキングな光景を見てこの伝説の番組を話題にするかもしれない。人気にあやかって類似番組ができて、より多くの人間のクズが（大衆娯楽のために

ではあるが）狩られるかもしれない。

そして、そういった心当たりのある人間のクズが震え上がるかもしれない——ほんのちょっとだけかもしれないが、世界は変わるのである。

『② カタナ』は仕事を Mr. ジョンソンなり、『① トーキョー』なりに労われるようなエンディングになるだろう。

あるいはすぐさま「日常」に戻り、またバー「ヤロール」で仕事を待つ日々に戻るのも、エンディングの1つの形態だろう。

敵ゲストデータ

“デューク・カシナート”

カゲ◎●、チャクラ=チャクラ
 理性：7 / 15 感情：4 / 15
 生命：8 / 13 外界：2 / 6
 【CS】：9 (17) AR：1

- 3 ♠♣♥◇★ 白兵
- 2 ♠♣♥◇★ 回避
- 1 ♠♣♥◇† 完全奇襲
- 2 ♠♣♥◇ 遠当
- 4 ♠♣♥◇ 手刀
- 1 ♠♣♥◇† 徹し
- 2 ♠♣♥◇ 縮地

アサルトナーヴス

▼ 行動の指針

セットアップ：〈縮地〉を使用（目標値：10）。【CS】を+8する（カッコ内の数値使用）

メインプロセス

ムーブアクション：キャストから「近距離」になるように移動。
 マイナーアクション：アサルトナーヴスを起動して、物理ダメージを+2する
 メジャーアクション：〈白兵〉〈手刀〉〈遠当〉で攻撃。【生命】の場合は〈徹し〉も組み合わせる。ダメージは [I + 1 2] が基本だが、〈徹し〉を組み合わせた場合は [X + 1 2] になる。

奥付

トーキョーN © V A THE AXLERATION
 『ジャスティスハンマー 2500』

制作：Riza (Twitter：@RizaSTAR)

更新履歴

2017/07/07 バージョン 1

■ 本作品について

本作品は株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN © V A THE AXLERATION』を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN © V A THE AXLERATION』は、有限会社ファーイースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体地名などとは一切関係がありません。